|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **チェックリスト（研究機関用）**  **病態解明・**  **Research 0/** **Research 1**  **病態解明・若手・**  **Research Y0/** **Research Y1** | | | | |
| 所属機関名【●●●●●●●●●●●】　　研究開発代表者氏名【●● ▲▲】 | | | | |
| 本チェックリストは、提案書等の提出に際して各研究機関において予め確認をいただくものです。各種書類を作成後、下記項目を必ずチェックした上で、提出してください。なお、本チェックリストは代表的な事項を採り上げたものですので、ここに記載のない事項であっても、研究機関の規程、記載例、事務処理説明書等に従って作成してください。 | | | | |
| 番号 | 確認内容（該当/非該当のいずれかにチェックしてください） | | 該当 | 非該当 |
| ０ | 各年度の申請額が公募要領に記載の研究開発費の規模の年間上限を超えていないか。 | |  |  |
| 応募時点でe-Radに登録されているエフォートが**20％以上**となっているか。 | |  |  |
| 1 | ○提出が必要な書類（必須）がすべて揃っているか。 | | | |
| 資料番号1：研究開発提案書（チェックリスト(研究機関用)を含む） | |  |  |
| 資料番号２：（ヒト全ゲノム解析を実施する場合のみ必須）ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式（※：ヒト全ゲノムシークエンス解析とは、次世代シークエンサーを利用した**全ゲノムシークエンス**解析及び**全エクソーム**解析を指します。） | |  |  |
| 2 | ○提出が必要な書類（任意）が揃っているか。（該当/非該当のいずれかにチェックしてください） | | | |
| 資料番号3：研究開発提案書の[背景及び概要]において、提案根拠として引用した論文のうち、[研究業績]に記載した主要な論文を最大５報まで提出すること。提案内容に寄与した臨床指針・ガイドラインについては、主なもの及び最新の版の本文を明示すること | |  |  |
| 資料番号４：研究提案で実施する実験・研究に関する非臨床試験プロトコール等またその概要を提出すること | |  |  |
| 3 | 各様式は、AMEDウェブサイトの本公募情報にある最新様式を使用しているか（更新する場合があります）。 | |  |  |
| 4 | 公募要領に記載された採択条件及び留意事項を満たす研究開発提案書になっているか。 | |  |  |
| 5 | 統合ファイルとして提出する資料番号３，4は、「資料＃」と「資料名」の表記を各資料の右上のヘッダに追記しているか（任意で提出する場合のみ要対応） | |  |  |
| 6 | * e-Radにアップロードする書類は以下のようなファイル名の記載になっているか。 * アップロードする書類はPDFおよび20MB未満になっているか。 | |  |  |
| 提出物 | アップロード時のファイル名 |  | |
| 【必須】  （資料番号1）研究開発提案書（e-radの登録画面では「応募情報ファイル」に該当） | 研究開発提案書 |  |  |
| 【**ヒト全ゲノム解析を実施する場合のみ必須**】  （資料番号2）ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式 | 資2全ゲノムプロトコール.pdf |  |  |
| 【任意】  （資料番号3）研究開発提案書の背景及び概要で提案根拠として引用した論文で研究業績に記載した主要な論文を**最大５報**、提案内容に寄与した臨床指針・ガイドラインのうち、**主なもの・最新のものの本文** | 資3著書論文ガイドライン.pdf |  |  |
| 【任意】 （資料番号4）提案する研究開発課題で実施する実験、研究に関する非臨床試験プロトコール又はプロトコール概要等 | 資4プロトコール.pdf |  |  |

**《作成に当たっての留意事項》**

1. 「F-3．病態解明・Research 1」および「F-4．病態解明・若手・Research Y1」では、新たに創出された創薬標的に対して、適切な創薬モダリティを用いて作用機序を定量的かつ特異的に評価し、その新規性が治療に有効であることを示す研究開発提案を採択する。本事業を医薬品ステップまたは再生医療等ステップへ進展させることが可能な提案内容であることを確認すること。

候補物がすでに供給可能な場合は、研究開発期間は最長３年間からの短縮を検討すること。

1. 「F-3．病態解明・Research 1」及び「F-4．病態解明・若手・Research Y1 」では、申請時に作用機序を定量的かつ特異的に評価できる評価系を有していることを示すか、研究開発期間中に開発する場合はその開発手法を示すこと。医薬品ステップ0及び再生等ステップ0で実施する内容とは異なることを公募要領で確認すること。
2. 研究対象となる疾患名及び国内外の罹患患者数を明記し（不明の場合は不明と記載）、本研究提案の目的、その革新性や独創性が本事業の実用化研究にどうつながるかを明確に記載すること。あわせて、成果達成の可能性や期待される成果等を【1.1】研究開発課題概要のハイライトへ記載すること。
3. 【1.２.1】の研究の背景・必要性には、提案根拠となる論文参照番号をそれぞれにつけた上で明記・引用すること。使用した論文のうち主要な論文を最大５報抽出し、参照番号順に研究業績として概要欄に記載し、11.研究業績との関係性がわかるように紐付けること
4. 【１．２．１.および３．】では本研究提案を起点に、最終目標達成までの技術・社会実装に向けたロードマップの図解すること。シーズ探索や非臨床試験などの主要マイルストーンを段階的に整理し、研究終了後の展開が明確にすること。
5. 本研究提案の目標を明確にするため、期待される科学的成果とそれによってもたらされる学術的・社会的メリットを具体的に記載すること。
6. 【3.実施体制図】には、研究開発代表者、研究開発分担者、協力企業（存在する場合）、主な外部委託先等の役割を明示すること。研究推進に必要な学際的な研究体制を構築し、対象疾患の臨床情報や解析技術に関する専門家が含まれることが望ましい。厚生労働省政策研究班や関連学会との連携がある場合は、その内容も具体的に記載すること。
7. 知的財産に関する記載が必要な場合は、知財担当者と相談の上、本研究提案に関連する特許権等知的財産権の取得及び申請状況等について詳細を記載すること。

（様式１）

**日本医療研究開発機構　難治性疾患実用化研究事業**

**研究開発提案書（案）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発課題名  （英語表記） | | 日本語表記 | | 〇〇に関する研究開発 |
| 英語表記 | | Study of ○○ |
| 公募名（事業名） | | | | ○○○○○○○○○○○○○  （公募要領を参照して記入すること。） |
| 研究開発期間（本提案における全研究期間） | | | | 契約締結日～　令和　X年　XX月　XX日（X年間） |
| 研究費総額（直接経費） | | | | 全研究期間での研究費総額（　XX.000千円）  ※「１２．各年度別経費内訳」の全研究期間の研究開発費合計と同じ金額を記載ください。 |
| ヒト全ゲノムシークエンス解析 | | | | 実施する  実施しない  ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出。 |
| 若手枠の確認  （該当する場合のみ記入） | | | | 若手　  ※若手枠の要件に合致し若手枠として応募する場合は☑ |
| 研究開発代表者 | 氏名 | | フリガナ | 〇〇〇〇　〇〇〇 |
| 漢字表記 | 〇△　〇□ |
| ローマ字表記 | Yyyy Yyyyyy |
| 性別 | | | 男　女　その他　回答しない |
| 生年月（年齢） | | | 19XX年XX月（XX歳：令和8年4月1日時点） |
| 所属機関（正式名称） | | | ○○法人○○大学 |
| 所属部署（部局） | | | ○○学部○○学科 |
| 役　職 | | | ○○ |
| 研究開発代表者の情報 | | | <https://www>.〇〇〇〇〇〇 |
| 研究開発代表者の研究歴  （主な職歴と研究内容） | | | |  |

# 注 提出する際には、青文字の記載例と緑色吹き出しの説明文を削除してください。

**要約（和文）**

■本研究提案の背景（今の状況がどのようで、何が求められているのか）、目的（背景を受け、本研究提案を実施する目的）、方法の概略（どのような方法を用いて、どのように研究を実施し問題を解決するか）等を**A4縦1ページ（40行）以内**で記載してください。フォント（ＢＩＺ ＵＤＰゴシック、10.5ポイント、標準書式）の変更は厳にお控えください。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

※「１　研究概要と目的」の【1.1研究開発課題概要】、【1.2研究開発全体の内容】及び「3.実施体制図」に記載されている内容は、不合理な重複・過度の集中排除のためe-Radなどを通じて、機構内及び他府省の他の競争的研究費制度の担当課間で共有することがあります。**上記の箇所の記述内容は所属機関の知財担当者へ必ず相談のうえ、作成してください。**

**１．研究概要と目的**

**【1.1研究開発課題概要】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 0. 提案する公募枠（公募研究開発課題名略称） | F-1(病態解明・Research 0)　  F-2(病態解明・若手・Research Y0)  F-3(病態解明・Research 1)　  F-4(病態解明・若手・Research Y1) | |
| 1. 研究開発課題名 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | |
| 2. 委託研究開発実施期間 | 契約締結日～令和X年XX月XX日(予定) | |
| 3. 委託研究開発費  （直接経費） | 第1年度　　R8年度  第2年度　　R9年度  第3年度　　R10年度 | xx,xxx,xxx円  xx,xxx,xxx円  xx,xxx,xxx円 |
| 4. 研究開発代表者氏名 | 栄目戸　太郎 | |
| 5. 研究開発代表者  所属機関・部署・  役職 | 学校法人大手町大学・大学院医学研究科・教授 | |
| 6-１. 対象疾患名（告知番号等） | 指定難病（告知番号：　　　、疾患名：　　　　　　　　　　　）  指定難病以外（疾患名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  複数の疾患を対象とする場合は5疾患以内で全て記載し、優先する対象疾患を1つ選択し下線を必ずいれてください（必須）。 | |
| 6-2.対象疾患が当事業の支援対象である理由  （**6-1．で指定難病以外にチェック入れた場合のみ、記載必須**） | 6-1．で指定難病以外にチェックを入れた場合は、該当する疾患が公募要領の「1.1 事業の概要、現状、方向性、目標と成果」に記載されている対象疾患である理由について、下記A、Bのいずれも記載ください。対象疾患が小児慢性特定疾患を含む場合はC.も記載ください。  A（必須）：指定難病以外の対象疾患が「希少性」、「原因不明」、「効果的な治療方法未確立」、「生活面への長期にわたる支障」の4 要件を満たす理由について記載ください。  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  B（必須）：指定難病以外の対象疾患が「がん」等、他の事業において組織的な研究の対象となっていないことについて記載ください。  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  C：対象とする疾患が小児慢性特定疾患の場合は、疾患名と認定番号を記載ください。  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| 7. 提案する創薬モダリティ  （**Research 1及びResearch Y1に応募する場合のみ記載必須**） | 低分子化合物　核酸医薬　環状ペプチド　モノクローナル抗体  モノクローナル抗体以外のタンパク・ペプチド　細胞医療　遺伝子治療  再生　その他（具体的に記載　　　　　　　　　　　）  提案する創薬モダリティが複数ある場合はその理由を以下に記載ください。  （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | |
| ８. ハイライト (①目的、②特色/独創性、③成果達成の可能性、④期待される成果をそれぞれ1文50字以内で記載)  ①○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ②○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ③○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○  ④○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ | | |
| ９.研究内容のキーワード（疾患名以外）  (10以内) | 1：n of 1試験  2：○○遺伝子  3：核酸医薬  4：  5：  6：  7：  8：  9：  10： | |

**【1.2研究開発全体の内容】**

|  |
| --- |
| 1. 概要等**（ＢＩＺ ＵＤＰゴシック、10.5ポイントで、A4縦2ページ（見出しを除き63行）以内で簡潔に項目毎に記載してください）** |
| 【研究の背景・必要性】  ○○○。  【目的・ねらい】  ○○○。  【特色・独創性】  ○○○。  【疾患モデル生物の妥当性（疾患モデル生物を使用する場合のみ記載 ）】  ○○○。  【対象疾患の病態解明研究において、類似研究に対する本提案の競合有意性・国際的優位性】  ○○○。  【研究開発計画・方法】  ○○○。  【本研究課題終了時に期待される成果（画期的な発見が本事業の医薬品あるいは再生等のステップへ進み、研究開発終了時には、適切なモダリティでのシーズ開発あるいは治験に向けた非臨床試験の研究開発提案ができることを簡潔に記載ください）】  ○○○。  【本研究課題終了時に期待される成果（診断法・治療法の開発につながる画期的な発見とそれを示す資料を記載ください）】  ：研究開発代表者が発明者となる特許出願  ：研究開発代表者が責任著者あるいは共同の責任著者としての原著論文  どちらかあるいは両方にチェックを入れたうえで、何が特許あるいは論文となるかを記載してください。本成果が得られない懸念がある場合はその内容を記載ください。  ○○○。  【将来展望】  ○○○。  (研究内容がTranslational Researchの観点で各研究項目の成果をどのように実用化に繋げるのかがわかるように具体的に記載ください。また、達成された場合に期待される、社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出等について、想定し得る範囲で記載ください。) |

|  |
| --- |
| 概要図（概要等の説明に必要な研究提案の概略図、図表がある場合に記載してください。） |
| 2. 過去から応募時までに本研究開発課題に関連する研究内容（同一疾患、同一標的、同一アプローチ等）がAMEDに採択されているか |
| 無し  有り（有りの場合、事業名、研究期間、課題管理番号及び当該研究開発課題名、該当する研究内容を以下に明示すること。）   1. 難治性疾患実用化研究事業（当時のlessons learnedをどのように生かして本研究開発を進めるかも記載すること） 2. 「ア」以外のＡＭＥＤの事業 |

|  |
| --- |
| ３. 本提案を起点に、医薬品等の実用化に向けた技術・社会実装のロードマップ（基礎研究からシーズ探索、非臨床試験、治験等）を図解で示し、【1.2.1.将来展望】と整合させてください。 |
| 研究開発計画のロードマップ**（青字は削除してイラスト等を挿入ください）**   * 本研究提案は基礎研究に位置づけられますが、最終ゴールは医薬品等の実用化を想定しています。 本欄では、本研究提案の将来展望を図解で説明ください。具体的には、本研究提案を起点とし、最終ゴールに至るまでの道筋を示すロードマップを作成してください。ロードマップには、技術的、社会的な実装に向けた主要なマイルストーン（シーズ探索、非臨床試験、等）を段階的に整理し、研究終了後の展開が明確になるようにしてください。図解は【1．2．１．将来展望】と整合性がとれるように作成ください。 なお、提出時には、本欄の青字は削除し、該当箇所に図解を挿入してください。 * 本欄は将来展望について図解を用いて説明いただくことで、本研究提案が最終ゴールの中でどのような役割を果たすかを明確にすることを目的としています。 ロードマップに分岐がある場合は、それぞれの分岐の理由が理解できるように記載してください。 * 研究開発代表者がロードマップの途中で継承者等に役割を引き継ぎ、自身は分担者として参画する場合は、その旨がわかるように記載してください（実名の記載は不要です）。 |

**２．研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属機関 | 現在の専門 | 令和8年度  研究経費※1  （千円） | エフォート  （％） |
| 生年月（年齢:令和8年4月1日時点） | 所属部署（部局） | 学位（最終学歴）  学位取得年 |
|  | 役職 | 役割分担 |
| 研究開発代表者 | ○○　○○ | ○○○○大学 | △△△ | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | △△△学部△△△学科 | △△博士（○○大学）H14年 |
|  | △△△ | 研究の統括 |
| 研究開発分担者 | □□　○○ | △□大学 | □○□ | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△学部△△△学科 | ○○博士（□△大学）  H15年 |
|  | □□□ | データの解析 |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計　2名 | | | 研究開発経費合計 | X,XXX |  |

※1　研究経費については、直接経費を記載してください。

【研究開発代表者】上記の所属機関以外に勤務先がある場合は、記載してください。

※主たる勤務場所が本研究開発課題の主たる研究場所及び上記の所属機関と異なる場合は、その旨記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機関名 | 所属部署（部局） | 役職 |
| ×□大学 | ○○学部 | ××× |
| 株式会社○△ | - | ×× |
|  |  |  |

**協力企業・導出先企業**

|  |  |
| --- | --- |
| 企業名 | 協力／導出内容 |
| 株式会社▲▲ | ●●に関する情報提供。 |
| ●●株式会社 | ■■研究に関する共同研究開発契約を締結 |
| ■■株式会社 | ▼▼に関するライセンス契約を締結 |

**３．実施体制図**

研究開発代表者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容「xxxxxxx」

研究開発分担者

所属　氏名

分担する研究内容「xxxxxxx」

研究開発分担者

所属　氏名

分担する研究内容「xxxxxxx」

解析

データ

提供

試料の提供

加工

研究開発分担者

所属　氏名

　分担する研究内容「xxxxxxx」

試料の提供

加工

AMED

契約

解析

データ

提供

共同研究契約締結済み

*【体制図記載例】*

***角丸四角形：****大学等*

***楕円：****企業*

***長方形：****AMED*

***点線矢印：****契約の流れ*

***二重矢印線：****試料、情報等のやりとり、分担*

**連携する学会、厚労省政策研究班等がある場合、その具体的な連携内容について以下に記載してください。**

**※適宜記入欄を追加してください。連携可能な厚労省政策研究班が存在しない場合はその旨を空欄に記載して下さい。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学会名、政策研究班名 | 連携の有無 | 合同班会議の開催予定 | 本研究開発提案において連携する内容 |
| 日本○○○○学会 | 連携済み  採択後に連携 | 有  無 | ○○○○○○○○○○○○○○レジストリからのデータ提供 |
| 厚労省政策研究「○○○○○」班 | 連携済み  採択後に連携 | 有  無 | ○○○○○○○○○○○○○○○○のガイドラインへの反映のためのCQに対するデータ提供 |

**４．研究開発の主なスケジュール**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発の主なスケジュール（ロードマップ） | | | | | | | | | | | | | | |
| 研究開発項目  ・マイルストーン | 担当者  氏名 | 第1年度  (R8年度) | | | | 第2年度  (R9年度) | | | | 第3年度  (R10年度) | | | | 達成率 |
| 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| （1) ○○病の治療法選択と長期予後  ・患者診療録情報を利用したレトロスペクティブ研究  ・患者レジストリを利用したプロスペクティブ研究 | 栄目戸  南尾  千代田 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 0％  0％ |
| （2) ○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○ | 栄目戸 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 0％  0％ |
| （3）○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○ | 南尾 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 0％  0％ |
| （4）○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○ | 千代田 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （5）○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○ | 栄目戸  千代田 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 0％  0％ |
| （6）○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○ | 栄目戸  南尾 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 0％  0％ |
| （7）○○○○○○  ・○○○○○○○  ・○○○○○○○ | 栄目戸  南尾  千代田 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 0％  0％ |

※研究の成否が研究全体に影響を与えるものについては太い矢印で示してください。

※不要なセルは削除してください**。**

**５．研究開発項目別　研究開発概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発項目(1) | ○○病の治療法選択と長期予後 |
| 研究開発担当者氏名（フリガナ）  （研究開発代表者、研究開発分担者のみ記載） | 1. 栄目戸　太郎（エイメド　タロウ） 2. 南尾　花子（ミナミオ　ハナコ） 3. 千代田　次郎（チヨダ　ジロウ） |
| 所属機関・部署・役職 | 1. 大手町大学 ・大学院医学研究科・教授 2. 日比谷大学医学部附属病院・内科・医長 3. 大手町大学 ・大学院医学研究科・助手 |
| **研究開発項目の概要（300字以内）**  　CQ1について、患者診療録の情報を利用したレトロスペクティブ研究を行い、初期の治療法選択と長期予後の関係を探索する。患者診療録の情報は・・・・。・・・。・・・。調査結果を元にプロスペクティブ研究の計画を作成し実施する。  **マイルストーン１**患者診療録情報を利用したレトロスペクティブ研究  担当者：〇〇  目的及び内容、達成される成果  　○○○･･･  ［第1年度9月に達成している事項］（各事項は定量的な指標もしくは具体的に終了する実施事項を記載下さい。マイルストーン達成の期間が6ヶ月を超える場合は、達成事項のつながりがわかるように記載してください。）  ○○○･･･  ［第1年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  **マイルストーン2**患者レジストリを利用したプロスペクティブ研究  担当者：〇〇  目的及び内容、達成される成果  　○○○･･･  ［第1年度9月に達成している事項］（各事項は定量的な指標もしくは具体的に終了する実施事項を記載下さい。マイルストーン達成の期間が6ヶ月を超える場合は、達成事項のつながりがわかるように記載してください。）  ○○○･･･  ［第1年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度3月に達成している事項］  ○○○･･･ | |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発項目(2) | ○○○○･･･ |
| 研究開発担当者氏名（フリガナ）  （研究開発代表者、研究開発分担者のみ記載） | 1. 栄目戸　太郎（エイメド　タロウ） |
| 所属機関・部署・役職 | 1. 大手町大学 ・大学院医学研究科・教授 |
| **研究開発項目の概要（300字以内）**  ○○○･･･  **マイルストーン１　○○○･･･**  担当者：〇〇  目的及び内容、達成される成果  ○○○･･･  ［第1年度9月に達成している事項］（各事項は定量的な指標もしくは具体的に終了する実施事項を記載下さい。マイルストーン達成の期間が6ヶ月を超える場合は、達成事項のつながりがわかるように記載してください。）  ○○○･･･  ［第1年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  **マイルストーン2　○○○･･･**  担当者：〇〇  目的及び内容、達成される成果  　○○○･･･  ［第1年度9月に達成している事項］（各事項は定量的な指標もしくは具体的に終了する実施事項を記載下さい。マイルストーン達成の期間が6ヶ月を超える場合は、達成事項のつながりがわかるように記載してください。）  ○○○･･･  ［第1年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度3月に達成している事項］  ○○○･･･ | |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発項目(3) | ○○○･･･ |
| 研究開発担当者氏名（フリガナ）  （研究開発代表者、研究開発分担者のみ記載） | 1. 南尾　花子（ミナミオ　ハナコ） |
| 所属機関・部署・役職 | 1. 日比谷大学医学部附属病院・内科・医長 |
| **研究開発項目の概要（300字以内）**  ○○○･･･  **マイルストーン１　○○○･･･**  担当者：〇〇  目的及び内容、達成される成果  ○○○･･･  ［第1年度9月に達成している事項］（各事項は定量的な指標もしくは具体的に終了する実施事項を記載下さい。、マイルストーン達成の期間が6ヶ月を超える場合は、達成事項のつながりがわかるように記載してください。）  ○○○･･･  ［第1年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  **マイルストーン2　○○○･･･**  担当者：〇〇  目的及び内容、達成される成果  ○○○･･･  ［第1年度9月に達成している事項］（各事項は定量的な指標もしくは具体的に終了する実施事項を記載下さい。マイルストーン達成の期間が6ヶ月を超える場合は、達成事項のつながりがわかるように記載してください。）  ○○○･･･  ［第1年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第2年度3月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度9月に達成している事項］  ○○○･･･  ［第3年度3月に達成している事項］  ○○○･･･ | |

**６．協力体制**（下記の体制が整備されている際には、詳細を記載してください）

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 生物統計家 | 有（詳細：研究開発協力者 大手町大学・生物統計学教室教授 ○○ ○○）  （主な関与：研究企画立案から　統計処理のみ）  （保有資格：責任試験統計家　統計検定　その他［　　　　　　　　］）  無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） |
| 2．疫学専門家 | 有（詳細：研究開発協力者 梅田大学・臨床疫学分野教授 ○○ ○○）  （主な関与：NDB等のデータベースを用いた検討に関する助言）  （保有資格：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ）  無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　） |
| 3. 知財担当者(必須) | 有（詳細：研究開発協力者 梅田大学・知的財産活用センター　○○○○　　）  （実務経験：特許庁　企業知財部門　その他［　　　　　　　　　 　］） |
| 4. ライセンス交渉担当者 | 有（詳細：研究開発協力者 梅田大学・知的財産支援センター　○○○○　　）  （保有資格：弁護士　弁理士　その他［　　　　　　　　　　　　　］）  無 |
| 5. 薬事担当者 | 有（詳細：研究開発協力者 何某製薬・医薬品開発薬事部　○○ ○○　　）  （実務経験： PMDA　 企業薬事部門　その他［　　　　　　　　　　　］）  無（理由：次ステップに移行する段階に入った際に薬事上の必要案件を確認するため） |
| 6．創薬化学専門家 | 有（詳細：研究開発参加者 竹山大学薬学部・創薬教室准教授 ○○ ○○　　）  （主な関与：モノクローナル抗体の製剤開発に向けた物性評価　　　　　　　）  無（（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 7．毒性学専門家 | 有（詳細：研究開発参加者 松海大学・毒性薬理学教室助教　○○ ○○ 　）  （主な関与：薬効評価で想定される候補化合物の毒性への関与を検討する　　）  無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 8．薬物動態専門家 | 有（詳細：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  （主な関与：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  無（（理由：創薬標的及び創薬モダリティが決定していないため　　　　　） |
| 9．臨床薬理専門家 | 有（詳細：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  （主な関与：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  無（理由：次ステップに移行する段階に入った際に臨床薬理上の課題を確認するため） |
| 10.情報技術（ICTやAI等を含む）専門家 | 有（詳細：研究協力者 大手町大学・情報処理工学　教授 　○○　○○）  （専門分野と実績：人工知能（AI）/ AIを活用した画像診断法の開発）  （主な関与と連携が必要な理由：取得した画像データを、AIを用いて処理・解析するための助言を行う。病理診断の精度を高めることを目的として、本研究班が保有する画像のデータを、AIの専門である○○教授の持つ○○技術を用いて処理・解析する。）  無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　） |
| 11．プロジェクトマネージャー | 有（詳細：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）  （保有資格： PMP（PMBOK） PMS(P2M)　 その他［　　　　　　　　　　］）  無（（理由：医薬品の実用化プロジェクトとしては初期の段階にあるため　　） |
| 12．その他（必要に応じて追加可） | 有（詳細：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）  （主な関与：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　）  無（理由：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　） |

**７．レジストリ･試料のリポジトリについて**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 1. レジストリ及び試料のリポジトリの有無 | | | | |
| レジストリ | | 有　有を選択した場合は2. レジストリ名を記載ください  無 | | |
| 試料のリポジトリ | | 有　有を選択した場合は3. 試料のリポジトリ名を記載ください  無 | | |
|  | |  | | |
| 2. レジストリ名 | | XXXX | | |
| レジストリ運営母体 | | 学校法人大手町大学　医学研究科 | | |
| 対象疾患 | | ○○病 | | |
| 目的 | 項目 | 自然歴調査  治療等の実態調査  患者数や患者分布の把握  患者QOL調査  治験又はその他の介入研究へのリクルート  治験対照群としての活用  製造販売後調査への活用  試料採取  バイオマーカーの探索  遺伝子解析研究  その他 | | |
| 詳細 | ○○病の疫学情報（患者分布、予後、予後予測因子、病型等）の収集  ○○病の薬効評価用バイオマーカーの探索  ○○病患者への情報発信基盤 | | |
| 疾患レジストリとの連携 | | 連携あり  内容：○○○･･･  疾患レジストリ名：  連携なし  理由：○○○･･･  構築または統合・拡充予定のレジストリ内容：  ○○○･･･  維持・管理の計画：  ○○○･･･ | | |
| レジストリ構築・運営に関するプロトコール作成の有無 | | 有  無 | | |
| 承認申請に利活用するための対応  ※有る場合は列記ください | | □有  ［内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　］  □無 | | |
| 予定登録期間 | | XXXX年XX月XX日（登録開始日）～XXXX年XX月XX日（登録終了日） | | |
| 予定実施期間  （観察期間を含む） | | XXXX年XX月XX日～XXXX年XX月XX日 | | |
| 横断的研究/縦断的研究 | | 横断的研究  縦断的研究 | | |
| プロスペクティブ/レトロスペクティブ等 | | データ収集の方向 | 追跡調査の有無 | 調査頻度 |
| プロスペクティブ  レトロスペクティブ  両方 | 追跡調査　有  追跡調査　無 | 6ヵ月に1回 |
| 目標症例数 | | XXXX例  設定していない | | |
| 登録済み症例数 | | XXXX例 | | |
| 参加医療機関 | | 単施設  多施設（施設数：XX施設） | | |
| レジストリ情報の参考URL | | 有（URL：http://www.xxxxxxxxxx.co.jp/xxxx）  無 | | |
| 本研究終了後のレジストリの運営方針に関する計画 | | 有（自己資金での運営を予定している）  未定 | | |
| 外部からの利用申請に対する対応 | | | | |
| ○○○○○○○○○・・・。 | | | | |

|  |  |
| --- | --- |
| 3. 試料のリポジトリ名 | XXXX |
| リポジトリ対象試料の収集目的 | ○○病患者の遺伝学的解析  ○○病患者の病理学的解析 |
| 試料のリポジトリ構築・運営に関するプロトコール作成の有無 | 有  無 |
| 試料の内容 | DNA  骨格筋 |
| 設置機関 | XXXX大学病院 |
| 目標サンプル数 | XXX例 |
| 登録サンプル数 | XXX例 |
| 予定設置期間 | XXXX年XX月XX日～XXXX年XX月XX日 |
| 本研究終了後の試料のリポジトリの運営方針に関する計画 | 有（自己資金での運営を予定している）  未定 |
| バイオバンクへの分譲･寄託 | 有（分譲先：XXXバンク　　　　　　　　　）  　　（分譲時期：○○○　　　　　　　　　　）  無 |
| 外部からの利用申請に対する対応（バイオバンクとしての機能） | |
| ○○○○○○○○○・・・。 | |

**８．知的財産について** (適宜、知財担当者と相談の上、記載してください。)

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 知的財産権の帰属 | 本研究開発の結果生じた知的財産権を、産業技術力強化法第１７条第１項各号に規定する４項目を「国」をAMEDに読み替えて遵守すること、本研究開発結果に係る発明等を行ったときはAMED指定の様式に則った書面にて遅滞なくAMEDに報告すること及びAMEDが実施する知的財産権に関する調査に回答することを約することを条件として、全て本研究開発の受託者である自らに帰属させることを希望する。 |
| 2. 計画と関連する出願済み及び出願予定の特許(複数ある場合は、コピーアンドペーストにより適宜表を追加してください。) | |
| 出願番号 |  |
| 発明の名称 |  |
| 出願日（優先日） | 年 月 日（特許権残存期間： 年 月） |
| 審査請求 | 権利化済み　請求中　請求する予定は無い  未請求（出願日より3年を過ぎても審査請求していない場合はその理由を記載ください：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 出願人（特許権者） |  |
| 分類 | 物質　用途　製剤　製法　スクリーニング法　遺伝子  その他（　　　　　　　　　　） |
| 発明者 |  |
| 出願国 | 日本　 PCT（移行前　移行済み（移行国： 米国　欧州　その他 （　ケ国） |
| 成立国 | 日本　米国　欧州　中国　韓国　その他 （　　ケ国） |
| ライセンスアウト | 済（独占的、非独占的）　交渉中　未 |
| 特許権譲渡 | 済（全譲渡、部分譲渡）　交渉中　未　予定無し |

※出願日（優先日）： 20年間の独占権を主張できる起算日。

※出願人(特許権者)が研究開発代表者または研究開発分担者の所属研究機関ではない場合、その機関との関係を示してください(契約内容のわかる資料(契約書の写し等)を添付してください。更新版提出時は過去に一度提出していただいた資料を再度添付していただく必要はありません)。

**９．本研究開発課題を進めるにあたり遵守すべき法令・指針等**

|  |
| --- |
| 下記の法令・指針等「該当なし」  　臨床研究法  　医薬品の臨床試験の実施の基準に関する省令  　医療機器の臨床試験の実施の基準に関する省令  　再生医療等の安全性の確保等に関する法律  　遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律  　人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針  　遺伝子治療等臨床研究に関する指針  　厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針  　その他の指針等（指針等の名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

**１０．本研究開発期間中に予定される臨床研究の有無**

|  |  |
| --- | --- |
| 有　　　無  ※「有」の場合は、予定される内容を記入してください。 | |
| 対象疾患 | 予定される内容、実施時期 |
|  |  |
|  |  |

**１１．対象製剤・製品等について**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 0. 開発品目の有無 | | 有　無 | | | | |
| 1. 対象製剤・製品またはプロトタイプの名称・内容など | | ○○合成阻害剤 | | | | |
| 2. 対象製剤・製品または プロトタイプの入手方法及び確保について | | ○○社より10000錠提供済み(非臨床用)  ○○社より20000バイアル無償提供(MTA締結済み)(臨床用) | | | | |
| 3. 薬事承認状況 | | 米国及びカナダにおいては、○○病について承認済み。△△病、☆☆病については未承認。  国内においてはいずれの疾患についても未承認。 | | | | |
| 4.企業協力内容  （予定を含む） | 評価（事前・中間・事後）および進捗管理の際の同席　　有り／　無し | | | | | |
| 内容 | | 予定/確定 | 合意 | 協力企業名 | 内容の詳細 |
| 製剤・製品等の提供 | | 確定  予定 | 書面  口頭 | ○○株式会社 | ○○○○○○・・・。 |
| 人的リソースの提供 | | 確定  予定 | 書面  口頭 |  |  |
| 技術提供 | | 確定  予定 | 書面  口頭 |  |  |
| 非臨床試験/治験の実施 | | 確定  予定 | 書面  口頭 |  |  |
| その他（　　　　　　） | | 確定  予定 | 書面  口頭 |  |  |
| 無 | | | | | |
| 5. 企業導出見込み | | 有無 | 合意 | 導出先企業名及び導出内容 | | |
| 有  無 | 書面  口頭 | ■■株式会社  POC取得を前提に○○社が薬事申請を行うこと、RX年X月迄に条件を整理し書面にて覚書を締結することの合意を得ている。 | | |
| 6. PMDA レギュラトリーサイエンス戦略相談 | | 実施済（内容：事前面談実施済み。対面助言をXX月頃実施予定。）  未施行（理由：　　　　　　　　　　　　） | | | | |
| 7. オーファン指定制度 | | 既に指定を受けている　申請中または申請を予定している　申請する予定はない | | | | |
| 8. 先駆け審査指定制度 | | 既に指定を受けている　申請中または申請を予定している　申請する予定はない | | | | |
| 9．先進医療Ｂ | | 未申請　　申請済み　　承認済み　　該当しない | | | | |
| 10．患者申出療養制度 | | 未申請　　申請済み　　承認済み　　該当しない | | | | |

**1２．各年度別経費内訳**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （１）全体経費 | |  |  | |  | |  | | （単位：千円） | |
| 大項目 | | 中項目 | R8年度 | | R9年度 | | R10年度 | | 計 | |
| 直  接  経  費 | 1.物品費 | 設備備品費 | 3,000 | | 1,000 | | 0 | | 4,000 | |
| 消耗品費 | 2,000 | | 3,000 | | 3,000 | | 8,000 | |
| 2.旅　費 | 旅　費 | 0 | | 500 | | 500 | | 1,000 | |
| 3.人件費  　・謝金 | 人件費※１ | 1,500 | | 1,500 | | 3,000 | | 6,000 | |
| 謝金 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | |
| 4.その他 | 外注費※2 | 0 | | 2,000 | | 1,000 | | 3,000 | |
| その他 | 1,500 | | 0 | | 500 | | 2,000 | |
| 小計 | | 8,000 | | 8,000 | | 8,000 | | 24,000 | |
| 以下の欄は審査には用いませんが、AMED事業予算管理のためにご記載をお願いいたします。 | | | | | | | | | | |
| 間接経費  （上記経費の30%以内＃） | | | | 2,400 | | 2,400 | | 2,400 | | 7,200 |
| 合　計 | | | | 10,400 | | 10,400 | | 10,400 | | 31,200 |
| ＃間接経費は直接経費の30%以下とします。 | | | | | | | | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （２）機関別経費（間接経費込み） | |  |  |  | （単位：千円） |
| 種別 | 機関名 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | 合計 |
| 代表機関 | 大手町大学 | 8,400 | 6,400 | 10,000 | 24,800 |
| 分担機関1 | 日比谷大学医学部附属病院 | 2,000 | 4,000 | 400 | 6,400 |
| 分担機関2 |  |  |  |  |  |
| 分担機関3 |  |  |  |  |  |
| 研究開発費合計額 | | 10,400 | 10,400 | 10,400 | 31,200 |

（３）直接経費の具体的な内訳や使用目的

・●●研究における●●に用いる●●の購入：●●千円（R7年度2Q）

・▲▲研究における▲▲のための支出：▲▲千円（R7年度3Q）

・■■の合成を■■するのための支出：■■千円（R8年度3Q）

・▼▼の測定を▼▼するのための支出：▼▼千円（R9年度3Q）

※１ 研究力向上のための制度（PI 人件費）の利用を希望する場合は、以下の条件を満たしていることを確認の上、以下の項目を記載ください。（希望しない場合は、記載不要です。）

* 1. 直接経費にPI の人件費（の一部）を計上することについて、PI 本人が希望していること。
  2. PI が所属する研究機関において、確保した財源を研究力向上のために適切に執行する体制が整備されていること。
  3. PI が所属する研究機関において、研究の業績評価が処遇へ反映されるなどの人事給与マネジメントを実施していること。

研究力向上のための制度（PI 人件費）とは？：https://www.amed.go.jp/keiri/youshiki.html

対象者氏名（この研究でのエフォート率、申請額）：○○○○（○％、約○○千円/年）

期待される効果： ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

※２　研究開発要素を含まない検査・分析・解析等の請負外注にかかわる経費、動物飼育業務等の請負外注費用、データベース等のソフトウェア開発に関する費用等を記載ください。

**1３．研究業績**

■本研究提案に関連する学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、1.2.1概要欄に引用した文献から**主要な論文５報**を抽出し（※）、概要欄に記載された参照番号順に記載し、業績との関係性がわかるように紐付けてください。概要欄に引用した論文以外は記載しないでください（引用文献が5報未満も追加しないでください）。 著者名は研究開発代表者の氏名に下線を引いてください。また、記載いただいた論文・著書は統合ファイルで**20MB**未満になるように、かつ、漏れなく統合し 、e-Rad上に任意資料として添付してください。

※研究開発代表者、研究開発分担者を合わせて５報以内としてください。

■本研究提案の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。**論文は除きます。**

**1３-1　研究業績（1.2.1概要欄に引用した文献から主要な５報を抽出し、研究開発代表者が何に貢献したかを記載ください）**

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

本論文の責任著者として、研究の検討方針の策定、研究全体の統括を行った。

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

責任著者の基で本論文の研究の一部である、○○の解析を行った。

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquel

**1３-2　「1３-1」以外の研究業績として、本研究提案の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）がある場合は、研究者毎に記載ください。記載数の制限はございません。ただし、論文は除きます。**

**1４．研究費の応募・受入等の状況・エフォート**

■本研究提案の研究開発代表者及び研究開発分担者の応募時点における、（1）応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。) 、（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、（3）その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください

＜注意＞

・**現在申請中・申請予定の研究助成等について、本研究提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式の記載内容に変更が生じた際は、速やかに本様式を修正の上、日本医療研究開発機構創薬事業部疾患医薬品研究開発課（rare-koubo”AT”amed.go.jp）までメールにて連絡してください。**

・他制度への申請書、計画書等の照会を求める場合があります。

※　必要に応じて行を挿入して構いません。

**研究開発代表者：○△　○□**

**（１）応募中の研究費（令和●年●月●日時点）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和8年度の  研究経費  （直接経費）  [期間全体の額] | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由  ※本事業への応募段階において他の競争的資金制度等への応募を制限するものではありません。 |
| 【本研究開発課題】  （R8年度～R10年度） | ○○と△△の相関に関する実験的研究  （○○○○） | 代表 | 6,000  申請者本人への配分予定額（直接経費）  [18,000]  *（千円）* | 20 | （総額　21,000千円）\*  研究開発課題全体（直接経費）の総額  例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R8～R9・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）  研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額） | 代表 | 3,000  [9,000]  *（千円）* | 10 | 本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　9,000千円）\* |
| 令和8年度○○財団研究助成金（R8・○○財団 | ××と□□の研究  （○○○○）  上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載 | 分担 | １,000  [1,000]  *（千円）* | 10 | 本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

**（２）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和●年●月●日時点）**

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和8年度の  研究経費  （直接経費）  [期間全体の額] | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和8年度○○財団研究助成金（R7・○○財団 | ●●と□□の研究  （○○○○） | 代表 | 1,000  [3,000]  *（千円）* | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　5,000千円） |
| ○○事業（R8～R10・AMED） | ●●と□□の研究  （○○○○） | 分担 | 1,000  [5,000]  *（千円）* | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

　\*　研究開発代表者のみ：（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

**（３）その他の活動　　　エフォート：　20　％**

**研究開発分担者：□□　○○**

**（１）応募中の研究費（令和●年●月●日時点）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和8年度の  研究経費  （直接経費）  [期間全体の額] | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由  ※本事業への応募段階において他の競争的資金制度等への応募を制限するものではありません。 |
| 【本研究開発課題】  （R8年度～R10年度） | ○○と△△の相関に関する実験的研究  （○○○○） | 分担 | 6,000  [18,000]  *（千円）* | 20 | （総額　21,000千円）\* |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R8～R10・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○） | 代表 | 3,000  [9,000]  *（千円）* | 10 | 本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　9,000千円）\* |
| 令和8年度○○財団研究助成金（R8・○○財団 | ××と□□の研究  （○○○○） | 分担 | １,000  [1,000]  *（千円）* | 10 | 本研究とは××の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

**（２）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和●年●月●日時点）**

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割(代表・分担の別) | 令和８年度の  研究経費  （直接経費）  [期間全体の額] | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和7年度○○財団研究助成金（R7・○○財団 | ●●と□□の研究  （○○○○） | 代表 | 1,000  [3,000]  *（千円）* | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　5,000千円） |
| ○○事業（R5～R8・AMED） | ●●と□□の研究  （○○○○） | 分担 | 1,000  [5,000]  *（千円）* | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　3,000千円） |

　\*　研究開発代表者のみ：（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

**（３）その他の活動　　　エフォート：　20　％**

**1５．これまでに受けた研究費とその成果等**

■本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■AMED事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

**研究開発代表者：**

**（1）【AMED事業】**

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

**（2）【それ以外の研究費】**

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

**研究開発分担者：**

**（1）【AMED事業】**

**（2）【それ以外の研究費】**

**1６．本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等**

■以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED事業の研究開発課題において記載を求めるものです。別途、公募要領に特記事項等として条件が付されない限りは、採否に影響ありません。なお、記載内容は今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

1. 本研究開発のプロセスの一環として、患者や市民の知見を参考にする予定があれば、その概要を記載してください。（※詳しくは公募要領3.3.2「医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI）の推進」をご参照ください）
2. 本研究で得られたデータについて、データベースへの登録やデータシェアリングを予定している場合には、その概要を記載してください。
3. 国内の子会社から国外の親会社に本研究開発課題の成果の承継を予定している場合は、その概要を記載してください。
4. **医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）PPIについて**

※記載に係るポイントは、AMED公式ウェブサイトをご参照ください

AMED研究への患者・市民参画：https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html

## （2）その他の研究成果の目安となる数値指標等について

## （3）国内の子会社から国外の親会社への本研究開発課題の成果の承継予定について

※本項目は、該当しない場合は「該当なし」と記載してください。

本研究で得られた結果について、社内規定により海外の親会社に移転予定。

**（４）性差を考慮した研究開発の推進について**  
AMEDが支援する研究開発においては、性差が研究対象や成果に影響を与える可能性がある場合、これを適切に考慮することが望まれます。なお、性差としては、「生物学的性（SEX）」と「社会的・文化的性（GENDER）」の両視点を持つことが重要であり、AMEDでは事業共通的な取組を段階的に進めていきます。令和8年度においては、「生物学的性（SEX）」に着目しますので、本項目では、 「生物学的性（SEX）」に基づき記載をお願いします。

（ <https://www.amed.go.jp/program/list/18/01/seisakenkyu.html> ）

以下の①、②のうち、いずれか１つを選択してください。残りは削除してください。

①性差を考慮する必要があると判断した

②性差を考慮する必要が無いと判断した

以下に選択の理由を記載してください。

（理由）

○○○

（以下は記載例です。なお、理由の文章は１つでも構いません）

（以下は記載例です。なお、理由の文章は１つでも構いません）

①性差を考慮する必要があると判断した：

・マウスを用いた実験では、雄雌差を考慮し、両性を用いた解析を行う。

・臨床研究では、リクルート時は被検者の性別の区別は設けないが、データ解析時は性別によるサブ

グループ解析、層別解析も行う予定である。結果を外部公表する場合は、可能な範囲で公表する。

②性差を考慮する必要が無いと判断した：

・既存の研究や文献において性差を考慮した研究が実施されておらず、現時点で性差の影響に関す

る知見が得られていないため、性差の考慮は不要と判断した。

・既存の研究や文献において性差を考慮した研究が実施されており、性差による影響が認められてい

ないことが確認されているため、性差の考慮は不要と判断した。

・研究試料が非常に限定されている難治性疾患であるため、性差の考慮ができなかった。

・技術支援基盤構築を行う課題であるため、考慮は不要と判断した。

・知財戦略策定を支援する課題であるため、考慮は不要と判断した。

# 1７．【若手枠】公募対象者チェック欄

研究開発代表者：○○　○○

|  |  |
| --- | --- |
|  | 満43歳未満の者（昭和58年4月2日以降に生まれた者） |
|  | 上記以外で、博士号取得後10年未満の者（博士号取得日：○年○月○日） |
|  | 出産・育児により研究に専念できない期間があった場合（育児休業等の期間：○○ヶ月） |
|  | 介護により研究に専念できない期間があった場合（介護休業等の期間：○○ヶ月） |

* 若手育成枠に応募の研究開発代表者は上記表の当てはまるものに☑を入れてください。なお、上記は令和8年4月1日時点におけるものとしてください。
* なお、採択後には必要に応じて、出産・育児又は介護の事実及び研究に専念できない期間があったことを証明する関係書類を提出していただく場合があります。
* 応募条件

・令和8年4月１日時点において、①年齢が満43歳未満の者（昭和58年4月2日以降に生まれた者）　　②又は博士号取得後10年未満のいずれか高い方を対象とします。

・③出産・育児又は介護により研究に専念できない期間があった場合は、①あるいは②に当該期間分（最長2年。延長の単位は月単位とし1月未満の日数は切り上げます（例：研究に専念できない期間が17ヶ月14日の場合は18ヶ月の延長となります。））加算することができます。